

# まちづくり意見交換会を開催しました

**門** 前通り周辺にお住まいの方に整備計画の検討状況をお知らせする「まちづくり意見交換会」を、9月30日(木)に開催しました。

意見交換会では、門前通りの整備の方向性と社会実験実施案の概要を説明し、参加された方から様々な意見を頂きました。



意見交換会の様子(於:稲荷神社稲光閣)▶

- 「ひとが安心して、楽しく歩ける道」と言っているが、ひととは地元住民ではなく観光客のことに聞こえる。住民に迷惑を掛けてまで社会実験をするのか。
- 一方通行は近隣の事業者にも迷惑だ。お客様や従業員から、「どこを通ったらいいかわからない」「遠回りで行きにくい」という苦情がある。営業妨害だ。
- 一方通行化には反対。門前通りで歩行者の事故は起きていない。歩道を広げる必要がどこにあるのか理解できない。門前通りを規制して交通量を減らしたら、沿道商店には死活問題だ。近隣道路への影響もあるのではないかな。
- 門前通り商店街でも、賑わいを創出するための取り組みをしている。この機会に、地元の方や観光客の意見が知りたい。アンケートをお願いしたい。

主な意見は以上のようなものでしたが、市では、道路を整備した場合の状況を、憶測でなく具体的なイメージとして捉え、今後計画を検討していくための課題を探るためには、社会実験が必要不可欠であると考えています。

地元のみなさんには、この社会実験から「ひとが安心して、楽しく歩ける道」を体感し、将来の門前通りのあり方について、家族や地域のみなさんと、よく話し合っていたいただきたいと思います。



今回の社会実験の結果は、アンケート結果も含め、このまちづくりニュースでお知らせする予定です。

また、今後開催する意見交換会等で、社会実験の結果を踏まえた、「地元の総意」を確認させていただきたいと思っておりますので、みなさんのご協力をお願いいたします。

# 「笠間稲荷門前通り」まちづくりニュース

**笠** 間稲荷神社を中心に開催される「笠間の菊まつり」。この期間は、多くの初詣客で賑わう正月を除くと、門前通りが年間で最も賑わう時期です。また、門前通りのまちづくり・道づくりを考えると、問題点・改善点を見つけるために、将来の道路整備を見据えた試行をする絶好の機会でもあります。

今年度は、この菊まつり期間の最後の5日間に、前回(今年3月)の社会実験と比べ、安全性に配慮しながら、実際の道路状況をイメージしやすい手法で社会実験を行い、多くの方からご意見を頂いて、門前通りの道づくりについて検証していきますので、みなさんのご協力をお願いします。

## 社会実験の内容

- **交通規制** 大町交差点から高橋町交差点への一方通行
- **実験期間** 平成22年11月19日(金)午前9時 ~ 11月23日(火・祝)午後5時  
期間中は終日規制



現在の笠間稲荷門前通り



3月の社会実験の様子

## Contents (目次)



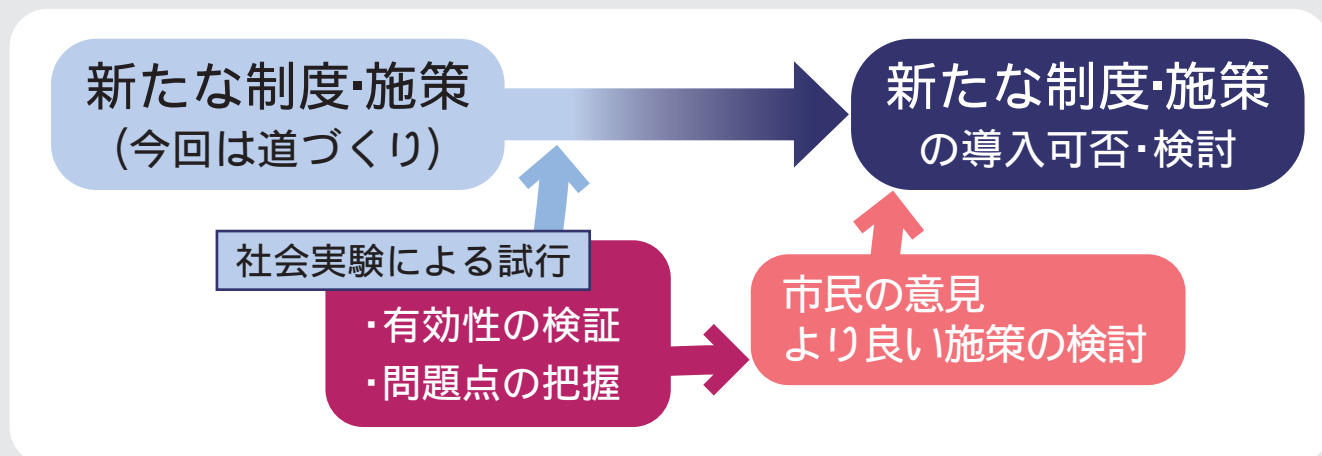
- 特集その **1** 社会実験の概要 ..... P.2
- 特集その **2** まちづくり意見交換会を開催しました ..... P.4

# 特集その1 社会実験の概要

## 社会実験ってどんなもの？

社会実験とは、新たな制度や施策を導入しようとする際に、その有効性や問題点を把握し、市民の意見を取り入れながら施策の導入の可否やより良い施策を検討するために、期間や場所を限定して試行するものです。

最近では、高速道路の料金値下げやスマートインターチェンジ設置などの社会実験が、記憶に新しいところではないでしょうか。



## 今回なぜ社会実験をするの？

現在、笠間市では、門前通りにかつての賑わいを取り戻そうと、地元商店街や商工会と行政が連携し、「来街者をおもてなしする雰囲気づくり」に取り組んでいます。魅力ある店や雰囲気づくりの取り組みを、いっそう効果的にするためには、おもてなしの空間づくりが欠かせません。まちを訪れた「ひとが安心して、楽しく歩ける道」があることが重要になります。

今回の社会実験は、門前通りの歩道空間を広くした場合の、ひとや車の流れ、問題点や効果を検証するために実施します。歩道を広くするには、車道を狭くするしかないので、安全のために一方通行の交通規制をします。



歩道が狭いと、ひとが車道にはみ出てしまう。



これだけ歩道が広いと……。

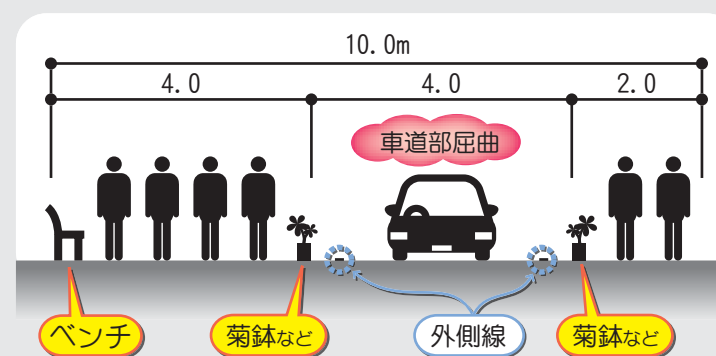
## 歩道を広くするって、どうするの？

今回の社会実験では、歩道を広くすることが目的です。現在の車道のセンターラインを消すと同時に、歩道と車道の境目にしっかりと白色の外側線を引きます。

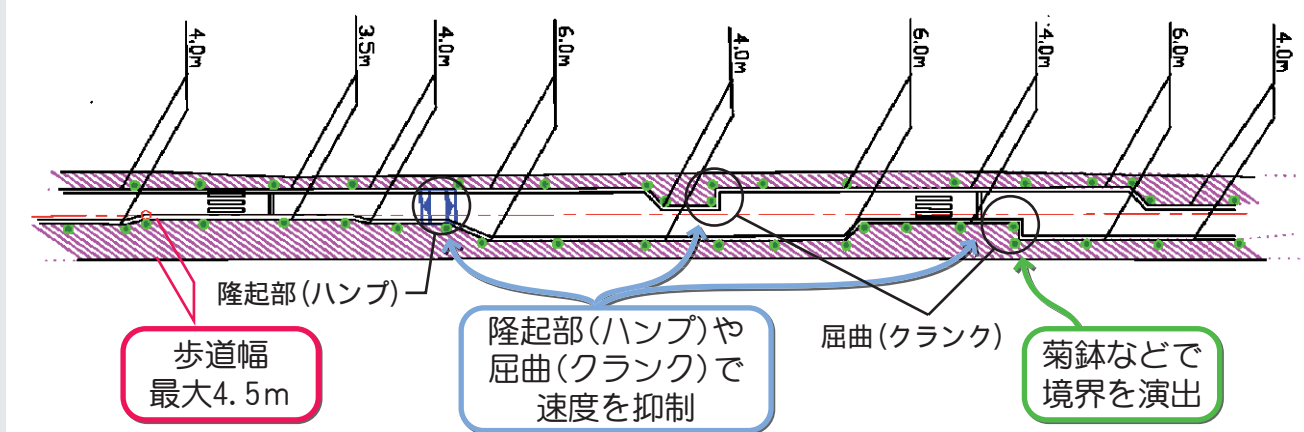
そして、菊まつり期間中なので、歩道側に菊鉢などを置いて、歩道と車道の分離を図ります(右図参照)。

また、車道を狭くすることで、最大4.5メートルの歩道空間を作り出し、狭い方でも現在より広い歩道を確保します。

車道には、下のイメージ図のように、狭くなる部分や、隆起する部分を設け、一方通行による速度の出し過ぎを防ぎます。



### 道路線形のイメージ図



## なぜ夜も一方通行なの？

今回の社会実験の期間は、菊まつり最後の5日間で、期間中は一日中ずっと一方通行となります。

これは、ある程度の期間の中で、実際に道路の形を線で描いた状況で実験することで、もし道路の線形を変えて整備した場合に、生活の中でどんな影響が出てくるのか、より具体的に検証していただくためです。

また、道路の線形を変えるため、期間中を通して交通規制をした方が、時間による規制より交通の混乱を避け、安全性が高いためです。

実験期間(期間中は終日一方通行規制)

平成22年11月19日(金)午前9時

～ 11月23日(火・祝)午後5時

